



日本クマネットワークシンポジウム

クマの**錯誤捕獲**、 現場で何が起きているの？ ～現状と課題を知るための第一歩～

2022年5月7日(土) 14:00～16:30

Zoomオンライン

参加無料・要申し込み



ピッキオ



ピッキオ



株式会社
野生動物保護管理事務所



合同会社
東北野生動物保護管理センター

シカやイノシシなどのわなで錯誤捕獲されたツキノワグマ

シカやイノシシなどのわなで、本来は捕まえるつもりのないクマや他の動物が捕獲される「錯誤捕獲」の数が年々増加しています。日本クマネットワーク（JBN）では、かわいそう…危ない…その思いを出発点にして、まずは現場で起きていることを正しく知るためのシンポジウムを企画しました。

- なぜ錯誤捕獲が増えているの？
- そもそも錯誤捕獲にはどんな問題があるの？
- どうしたら錯誤捕獲を防げるの？

こうした疑問や課題についてご紹介します。
錯誤捕獲を減らすために、できることを一緒に探してみませんか。

プログラム

進行：小池伸介（東京農工大学）

1. 開会挨拶 玉谷宏夫（ピッキオ）
2. 錯誤捕獲の現場から～長野県の事例～ 泉山茂之（信州ツキノワグマ研究会）
3. 錯誤捕獲が起きてしまう背景と課題の整理

小坂井千夏（農研機構）・JBNクマ保護管理推進委員会

—— 休憩・スライドショー上映 ——

4. 話題提供

- ①兵庫県の錯誤対応の現状～保護管理計画のモニタリングとその成果～
森光由樹（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所／兵庫県森林動物研究センター）

- ②島根県における捕獲状況と現場対応
澤田誠吾（島根県西部農林振興センター県央事務所）

5. フリーディスカッション

モデレーター：佐藤喜和（酪農学園大学）
コメンテーター：山崎晃司（東京農業大学）・玉谷宏夫

申込方法

以下のURLもしくは右のQRコードから申込フォームを開き、5月5日（木）までにお申し込みください。

<https://forms.gle/s6U9E2aEiofCtfXn8>

※お申し込み後、原則3日以内に受付完了メールをお送りします。



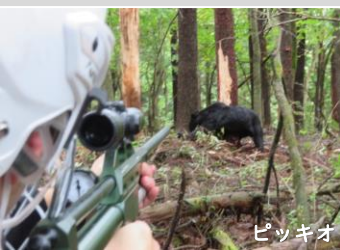
お問い合わせ

日本クマネットワーク保護管理推進委員会 / hogokanri@japanbear.org

主催 日本クマネットワーク



錯誤捕獲されたツキノワグマに麻酔をかけ、必要な計測等を行った後、放獣する様子



ピッキオ



兵庫県森林動物研究センター森光由樹



合同会社
東北野生動物保護管理センター



株式会社野生動物保護管理事務所